



【ブロック支部からのお知らせ】

日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部のホームページが公開されました。

<http://www.primary-care.or.jp/primarycare-tohoku/index.html>

東北各地での研修会・セミナー等の情報を jpcatohoku.kouhou@gmail.com へお寄せください！

【支部学術集会開催報告】

第9回日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部学術集会

(「東北医師会連合会総会並びに学術集会」分科会)

大会長： 坂戸慶一郎 (健生黒石診療所)

日時：2019年9月7・8日

場所：アピオあおもり (青森県青森市)

テーマ：地域の医療を皆で支えるために

参加者数 医師 98名 看護師・薬剤師・その他 47名



プログラム概要

2019年9月7日 (土)

10:00-11:00 JPCA 東北ブロック支部幹事会

11:00-12:00 JPCA 東北ブロック支部総会/代議員会

13:30-13:40 開会式 (大会長・JPCA 東北ブロック支部長挨拶)

13:40-14:20 講演 日本プライマリ・ケア連合学会 草場鉄周 理事長

14:20-15:40 シンポジウム

テーマ：「地域の医療を皆で支えるために」

座長：福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座教授 葛西龍樹 医師

パネリスト：

弘前大学総合診療部教授 加藤博之 医師

青森県立中央病院地域医療支援部 丸山博行 医師

ファルマ藤代薬局 木村匡宏 薬剤師 (日本プライマリケア連合学会認定薬剤師)

公益社団法人 地域医療振興協会 筑井菜々子 診療看護師

16:00-17:30

■一般演題（口演発表） 8 演題

■多職種連携コミュニケーション・スキルアップ～事実質問・メタファシリテーション体験講座～

2019年9月8日（日）

9:10-10:40 分科会

【A-1】とうほくGIM企画！ 臨床推論をみんなで学ぼう

【A-2】 Common disease update

・青森市民病院 脳神経外科 部長 竹村篤人先生

「プライマリ・ケアで必要な正常圧水頭症・慢性硬膜下血種の知識」

・松枝歯科医院 松枝卓之 先生

「common disease としての歯科疾患～診断と治療」

【A-3】多職種でみる在宅診療

【A-4】プライマリ・ケアでのうつ病と不安障害マネジメント

9:00-12:00 JPCA 指導医養成講習会

10:50-12:20 分科会並列

【B-1】みんなで考えよう！ポリファーマシー

【B-2】 Common disease update

・弘前大学大学院医学研究科 皮膚科学講座 相楽千尋先生

「プライマリ・ケアで必要な皮膚疾患の知識（仮）」

・医療法人青仁会 青南病院 病院長

はちのへ認知症疾患医療センター センター長 深澤 隆先生

「プライマリ・ケアで必要な認知症の知識（仮）」

【B-3】えっ？令和なのにまだ患者を叱責しているの??～患者の背後に潜む原因は?～

12:30-12:45 閉会式

12:45-14:00

・キャリアカフェ mini TOUHOKU ※岡田唯男先生参加

・みんらぼセミナー 坪谷医師主催 ※学術集会として会場貸し出し

まとめ

・全体としては、理事長講演、シンポジウム、一般演題、多職種連携・コミュニケーションスキルアップ、意見交換会、分科会、キャリアカフェ、(同時開催の)指導医養成講習会は、いずれも充実した内容で、参加者からも好評をいただくことができました。

・学術集会前には、日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部の会則改定を行うため、初めての支部総会/ブロック支部代議員会を招集・開催し、滞りなく行うことができました。

【県支部からのお知らせ】

第11回 宮城プライマリ・ケア研究会 (宮城県支部)

2020年1月11日に第11回宮城プライマリケア研究会が開催されます。これまでおおよそ半年に1回、開催され、今回で11回を迎えることができました。概要は、専攻医からのポートフォリオ発表、胆沢病院の渋谷俊介先生から特別講演「病院総合専門医制度と日本病院総合診療医学会について」を予定しております。なお、これまで宮城県の専攻医を対象にポートフォリオ発表会を開催していましたが、今回、公募枠を設けることにしました。プライマリ・ケア領域に興味のある方の参加を広くお待ちしております。

なお、会終了後、懇親会を開催予定です。後日詳細をご連絡いたしますが、合わせてご参加検討いただきますようお願いいたします。

【第11回 宮城プライマリケア研究会 概要】

日時:2020年1月11日 14:00-17:00 頃 (予定)

場所;東北大学医学部 6号館 講堂

会費:無料

内容

- ① 専攻医によるポートフォリオ発表
- ② 特別講演「病院総合専門医制度と日本病院総合診療医学会について」

岩手県立胆沢病院 渋谷俊介先生

●タイムスケジュール

14:00 開会

14:05~15:55 ポートフォリオ発表 (1演題:発表8分以内 討議含めて計25分)

16:00~17:00 特別講演「病院総合専門医制度と日本病院総合診療医学会について」

岩手県立胆沢病院 渋谷俊介先生

17:00 閉会

終了後、懇親会予定

連絡先: 東北大学病院 総合地域医療教育支援部

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

電話 022-717-7587 FAX 022-717-7508

e-mail administ@soushin.hosp.tohoku.ac.jp

令和元年度 日本プライマリ・ケア連合学会山形県支部 総会・研修会

2020年3月14日に日本プライマリ・ケア連合学会山形県支部総会・研修会を開催いたします。研修会では専攻医からのポートフォリオ発表と山梨市立牧丘病院院長の古屋聡先生をお招きして特別講演「死ぬまで口から食べるを支える」を予定しております。なお、会終了後、懇親会を開催予定です。後日詳細をご連絡いたしますが、合わせてご参加検討いただきますようお願いいたします。

【令和元年 日本プライマリ・ケア連合学会山形県支部総会・研修会 概要】

日時：2020年3月14日 15:00-18:10 頃 (予定)

場所：山形県生涯学習センター遊学館 第3研修室 (予定) 託児所設置予定

会費：無料

内容

- ① 専攻医によるポートフォリオ発表
- ② 講演「死ぬまで口から食べるを支える」
山梨市立牧丘病院 古屋 聡 先生

③ 総会

●タイムスケジュール

14:30 受付開始

15:00 開会

15:05～15:55 ポートフォリオ発表

16:10～17:40 講演

17:45～18:10 総会

終了後、懇親会を会場を変えて行います。

連絡先: 公立置賜総合病院 総合診療科

〒992-0601 山形県東置賜郡川西町大字西大塚 2000 番地

電話 022-717-7587 FAX 022-717-7508

e-mail administ@soushin.hosp.tohoku.ac.jp

第2回岩手県支部研修会 開催報告

日時：2019年11月9日(土) 13:30~17:00

場所：マリオス18F (盛岡地域交流センター)

主催：日本プライマリ・ケア連合学会岩手県支部

岩手支部では去る11月9日(土)、盛岡市・マリオスにて日本プライマリ・ケア連合学会第2回岩手県支部研修会を開催しました。当日は、県内外から多職種48名の皆様にご参加をいただきました(医師30名、研修医1名、医学生8名、薬剤師3名、看護師1名、鍼灸師2名、MSW2名、役所職員1名)。



第一部は一般演題、続いて第二部としてワールドカフェという二部構成の研修会となりました。

一般演題は13題を集め、各職種の演者とフロアとの白熱した議論が交わされました。発表の内容としては希少な症例報告や、地域医療圏における独自の取り組み、あるいは岩手県全域の統計を基にしたデータ解析、更には岩手医大の現役学生によるリサーチ報告など、盛り沢山でありました。

一方、ワールドカフェにおいては『こうなったら良いな、地域包括ケア～住民参加型になるために私達が今できること～』と題し、多数に渡る職種の参加者が活発に忌憚なき意見をお互い発信し合いました。非常に濃密で有意義な時間を過ごした参加者の皆さんからは満足度の高い反響が聞かれました。ワールドカフェの参加は初めての方もおられましたが、「はじめてだったけど楽しかった」「もう少し話したかった」との声もあり、参加者自らが積極的に作る研修会になったと思います。研修会終了後は、情報交換会を開催し、活発で楽しい意見交換を行いました。

また、この日、開会前に県支部幹事会が開催され、今年度の活動報告や来年度へ向けての計画などについて幹事間にて検討を行いました。

岩手県支部では引き続き、広域な県内で多職種ネットワークを形成しながら年1回の定例研修会を企画し、プライマリ・ケアの普及と進歩を目指して参ります。

※報告：岩手県支部 坂本和太(岩手県立中央病院総合診療科)、菊地大輝(岩手医科大学 救急・災害・総合医学講座 総合診療医学分野)

日本プライマリ・ケア連合学会山形県支部研修会 開催報告

日時：2019年11月16日(土) 15:00~18:30

場所：山形市医師会館2F201会議室

主催：日本プライマリ・ケア連合学会山形県支部

山形県支部では去る11月16日(土)、山形市医師会館にて日本プライマリ・ケア連合学会山形県支部研修会を開催しました。当日は、県内外から多職種24名の皆様にご参加をいただきました(医師9名、医学生3名、薬剤師9名、看護師2名、社会福祉士1名)。



第1部はポートフォリオ検討会、続いて第2部はワールドカフェという二部構成の研修会となりました。ポートフォリオは総合診療研修プログラムの専攻医から1題、薬剤師から3題を発表していただき、演者のプレゼンとフロアーとの白熱した議論が交わされました。一方、ワールドカフェにおいては『総合診療・家庭医療って?』と題し、①朝ごはん、食べる派食べない派?～食事に関するあれこれ～ ②お医者さんとコメディカルまたは患者さんとの関係 あるある～どうすれば良い関係が作れるのかな～ ③薬局の上手な使い方～こんなことが出来ます、こんなことがして欲しい～ ④これでいいのか卒前卒後教育～地域志向の医療従事者を育てるための作戦会議～の4つのテーマについて総合診療・家庭医療的な視点で話し合っていました。医学生さんや総合診療に馴染みのない看護師さんも活発に発言していただき有意義な研修会になりました。

研修会終了後は、懇親会を開催し楽しく意見交換を行いました。

※報告：山形県支部 高橋 潤（公立置賜総合病院 総合診療科）